

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25年度 国際ロータリー第2540地区ガバナー月信

December
2024

12

Vol.6



2024-2025年度 第2540地区 スローガン

『小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう』

ロータリー特別月間 12月 | 疾病予防と治療月間

2024-25年度 ガバナー
佐藤 和志

2024-25年度 国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック



ガバナーメッセージ

貴方の背中でロータリーを

国際ロータリー第2540地区
2024-2025年度ガバナー

さとう かずし
佐藤 和志



12月はロータリー月間は『疾病予防と治療月間』とされています。私達もついこの間まで新型コロナの感染症に悩まされ、3密禁止や手洗い励行・マスクの着用などを強いられました。今ではだいぶ発症する方も少なくなっていますが、まだまだ油断はできません。冬に向かってインフルエンザの流行も心配される季節となりますので『疾病予防と治療月間』について、もう一度クラブ内でまた家庭内で話し合ってみて下さい。

さて、当地区として現在地区戦略計画が推進中です。主に会員数の増加に力点が置かれていますが、ある他地区パストガバナーの話を紹介します。

「会員減少の要因には社会的要因（経済事情、人口動態）・人的要因（個人の価値観の変化、拝金主義、悪しき個人主義）・国際ロータリー自体の要因（ロータリー哲学の喪失と財団中心主義）・クラブの要因（会員選考の形骸化・学ぶ意欲の喪失、相互扶助、感性的親睦のみの重視）が考えられます。活動の形式化、マンネリ化、安易な入会は学ぶ意欲のない会員数の増加に繋がります。感性的親睦すら怪しいです。ロータリーではあってはならないクラブ内の派閥の存在。仲間割れで消滅した事例は珍しくありません。」と語っています。

また、クレム・レヌフ元RI会長は、「私達は優秀で積極的に参加してくれそうな新会員をクラブに入会させれば、それが会員増強だと思っていますが、その人達にやる気を起こさせ、やりがいのあるプログラムに参加する機会を与えなければ、いずれ知らない間に居なくなってしまうでしょう。そして会員の勧誘と維持を目的とするものではなく、ロータリーとはどんな団体なのかを理解することから始めなければならない。あなたがロータリーなのです。会員増強は私達の背中でするものではないでしょうか。」とも語っています。

なんとも身につまされる言葉です。もっとロータリーを理解し、それを表現し、膨張させようではありませんか。私のガバナー任期もあと半年あまり、寒さ厳しくなりますが、背中を丸めることなく、背筋を伸ばし、新しい年を迎えたいものです。

PRESIDENT'S MESSAGE



2024-25年度国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(米国ペンシルベニア州のマクマリー R C 所属)

心と頭で適応力を高める

ロータリーの行動計画に示されているように、「適応」するためには、これまでの方法から一步踏み出して、新しいことにチャレンジする必要があります。ここに適応力を示した二つのクラブの例をご紹介します。一つは「心」、もう一つは「クリティカルシンキング（批判的思考：物事の本質を見極め、論理的に思考すること）と戦略」で適応したクラブです。

インドのチャンディーガル・ミッドタウン・ロータリークラブ（R C）は今年初め、「心」を大切に行動を起こしました。会員の参加を促し、会員基盤を強化するため、クラブ会長のニキン・カプールさんは、退会した全ての会員に直接電話をかけ、元クラブ会員の同窓会に招待しました。

会には呼びかけに応じた8人が出席するという、素晴らしい結果となりました。これらの元会員は、現会員とつながることができただけでなく、会員同士の仲間意識や帰属意識を再び感じることができました。その夜の終わりまでに、クラブは元会員のうち6人を再び、ロータリーファミリーに迎え入れることができたのです。

勇気を出して元会員に働きかけたカプールさんは、適応力をもって新しいことを試ただけでなく、ロータリーファミリーにとって今でも大切な存在であると、元会員に知ってもらうことに成功しました。勇気を出したことが、成果につながりました。

人は誰でも自分が必要とされ、大切にされていると感じたいものです。そして、帰属意識を求めています。このように感じてもらうには、私たちが勇気を持ってそれを伝える必要があるのです。

さて、韓国のソウル・ハンス R C は、異なるモデルのクラブづくりを試みて、より大きな効果を得ました。過去4年間、このクラブは四つの衛星クラブ（奉仕クラブ、音楽愛好家のためのクラブ、職業人へのメンタリングを行う分野特化型クラブ、大学生のためのクラブ）を結成・維持してきました。

これらの衛星クラブは、イノベーションを通じて会員数を増やすため、このクラブが実施した5カ年計画の一部です。

これほど多くの衛星クラブを結成・維持できる秘訣は何なのでしょう。このクラブと衛星クラブの会員基盤は流動的で、柑乗効果に満ちています。衛星クラブの多くの会員がスポンサークラブの例会に参加し、スポンサークラブの会員も衛星クラブの活動に参加しています。

さらに、各衛星クラブは特定の活動分野に特化しており、スポンサークラブ会員や地域社会の人々に異なる分野でアピールすることで現会員や入会候補者にクラブの魅力を伝えています。このような柔軟な方法は、会員の入会と維持の促進の両方にとって絶好の戦略といえます。人会に関心があっても、一般的なロータリークラブの例会では都合がつかないという人は、衛星クラブのオプションを選択できるのです。

これらは、心と頭で適応したほんの二つの例です。クラブの個性を知るために、クラブ会員や地域の人たちに働きかけてみてください。クラブでどのような体験を求めているのかに H を向け、それを枯にどんな改善ができるか検討してみましょう。

多くの人たちと話すことで、クラブは適応し、「ロータリーのマジック」を実践できるでしょう。会員増強・維持に関するリソースは、rotary.org/membershipをご覧ください。

RLIラーニング・セミナー PART II 開催報告書

RLI委員長 桑原 透(秋田RC)

今年度9月に開催したPART I に続き、2024年11月10日(日) 9時20分から秋田テルサにて、RLIラーニング・セミナーPART II を22名が参加して開催しました。

今回も12名のファシリテーターと共に、セッション1～6を各セッション50分で6時限にわたって受講いただき、無事全員がPART II を修了出来ました。

開会式では、桑山明久ガバナーエレクトの挨拶と、委員会から当日の流れの説明を行なった後で、4会場に分かれて各セッションに取り組んでいただきました。

PART I 同様に、各人が積極的に意見交換し、ロータリーについて気づきを得る機会になったことと拝察します。

併せて、他クラブの会員とディスカッションしながら、より良い交流が出来たと思います。

ご参加くださった皆様には丸一日の受講でお疲れのことと存じますが、充実して楽しかったとのお答えが多くて安堵しています。

今年度最後のPartⅢは、2025年3月9日に開催します。

ファシリテーター養成研修も2月15日に行なって、PARTⅢへの準備を万全に整えます。

RLIを受講することで、今のロータリーを知るクラブ会員が増え、自分たちのクラブをより明るく楽しく活性化しながら個性溢れる強いクラブづくりが出来るのだとお考えいただいて、多くのクラブ会員へRLIラーニング・セミナーの受講をご推奨くださるよう、クラブ会長の皆様のお力添えを引き続きお願いします。



地区大会を振り返り

国際ロータリー第2540地区 地区大会実行委員長 西村 隆作(田沢湖RC)

11月16日(土)17日(日)2024-25年度地区大会をグランドパレス川端においてRI会長代理・橋岡久太郎様ご夫妻、セミナー講師に松本祐二様をお迎えし開催しました。

16日の地区リーダー研修では、「ロータリーを楽しむ」をテーマとし松本様の示唆に富んだ内容は、参加者の心に響いたと感じております。

そしてRI会長代理歓迎晩餐会では、アトラクションとして県立大曲高等学校の書道部よりパフォーマンスを行っていただき、皆様に大変喜んで頂きました。

17日の本大会、基調講演をテルマエ・ロマエの漫画・映画で有名な「ヤマザキマリ様」をお迎えし演題に「テルマエ・ロマエと私」として最新作と秋田弁やイタリアの歴史などバラエティーな内容で、一般聴講者の皆様にも大いに喜んで頂きました。

また、RI会長代理の橋岡久太郎様より「国際ロータリーの最新情報」をご教示いただき、地区とクラブの運営にとって大変役立つ情報でした。

大懇親会は会場を移して、大曲エンパイヤホテルにて開催しました。移動も皆様のご協力のもと最後まで盛会裏に開催できました。

大会運営につきましては、ご参加いただいた皆様に色々な点で行き届かぬ事が数々あった事と思いますが、何卒お許し願いたいと思います。

以前、申し述べておりますが、ホストクラブ田沢湖会員の力が十点だとすると、コ・ホストクラブから応援いただいた実行委員の皆様のお力が五十点、残りの四十点は、地区内ロータリー会員の協力のおかげです。

私も、この経験をいかしてこれからも楽しんでロータリー活動を続けてまいりたいと思っております。今後ともよろしくご指導お願い申し上げ御礼の言葉と致します。

ガバナーエレクト壮行会

地区幹事 熊沢 正志(田沢湖RC会長)

「国際ロータリー第2540地区2024-2025年度桑山明久ガバナーエレクトご夫妻国際協議会壮行会」を12月7日(土)グランドパレス川端にて開催しました。

佐藤和志ガバナーが桑原明久ガバナーエレクトを激励し、前途を祝う会という事で司会を務めさせて頂きましたが、不慣れな為シナリオ通りにいかない所もありましたが、皆様のご協力により壮行会は終始なごやかな雰囲気で行進んでいきました。良い経験をさせて頂きました。

その後、来年4月にアメリカで行われる規定審議会へ参加する地区代表議員の平澤孝夫パストガバナーへ佐藤ガバナーよりお餞別を渡しました。

懇親会も大変楽しく有意義な時間でした。

桑山ガバナーエレクトにはお体をお大事になさって、2月9日オーランドで開催する国際協議会を楽しんで来て頂ければと思います。

また、壮行会を開催するにあたりご協力頂いた方々に感謝申し上げます。





第2540地区 『地区戦略計画及び行動計画についてのアンケート集計結果』

2024.12.7

この度のアンケートには40クラブ中36クラブに回答を頂きまして有難うございました。各項目についてはそれぞれにコメントをしていますので、参考にして頂ければと思います。

全体的に各クラブの皆さんには、会員維持・増強に頑張ってもらっており心強く思っています。2024年7月以来28人の加入があり、18人の退会で10名増の当地区の会員数は現在1,125人となっています。本当に感謝を申し上げます。

しかし、会員増強には地域差やクラブの事情などいろいろな障害がある事も分かりました。この事情をどのように解決するか、障害をどう乗り越えるか、答えは皆さんの心の中にあると思います。諦めて次の世代に任せるか。消滅するのをこのまま黙って待つのか。今一度クラブの皆さんと話し合っ欲しいと思います。クラブの衰退は地域の衰退につながり、地域経済ひいては地域の消滅になります。秋田県は日本の国はどこに向かおうとしているのか。5年後10年後はどうなっているのか。過去は変えられませんが、未来は皆さんの手で変えられます。

会員増強に特效薬はないと思いますが、皆さんのクラブは先輩の皆さんから十分に肥料を得、水を与えられて成長してきたと思います。しっかりと根を張り、枝を伸ばし、花が咲き実になります。この繰り返しは自然の摂理と思われがちですが、実は植物にも生きていこうとする意志があるように思われます。私達のロータリークラブも、存続・維持させることが会員ご自身のため、地域社会のためになると思います。

そのためには行動することではないでしょうか。行動こそ力なり。楽しい行動・楽しいクラブこそ皆さんのクラブ力をアップする秘訣だと思います。一人また一人と仲間を誘って下さい。

今年度も残すところ半年余りですが、「やれることは全部やる」と思っていますので、引き続き一層のご支援ご協力をお願い致します。

ガバナー 佐藤 和志
DEI行動計画推進委員長 塩谷 國太郎

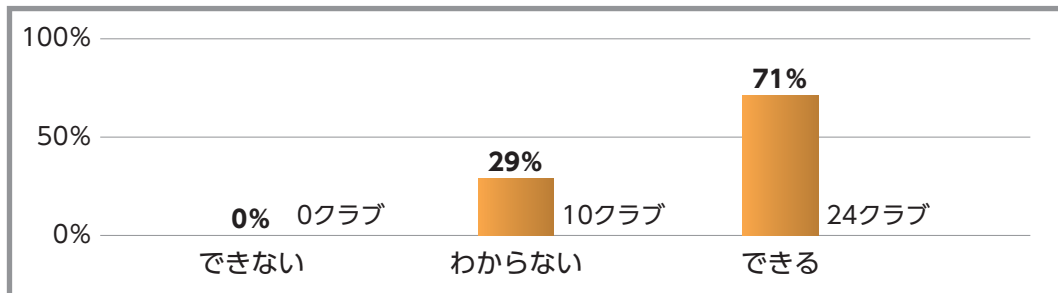
第2540地区 『地区戦略計画についてのアンケート集計結果』

2024.11.29 ガバナー佐藤和志、会員増強委員会・地区戦略計画委員会・DEI行動計画推進委員会
◎11月5日まで実施したサンプル数40クラブ中34クラブに回答を頂きました。

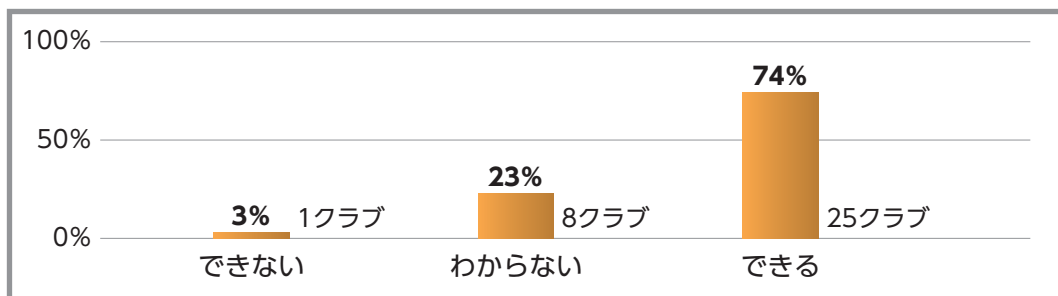
◆目標達成のための方策について、該当する所に  のように○印を記入してください。

(1)会員増強について

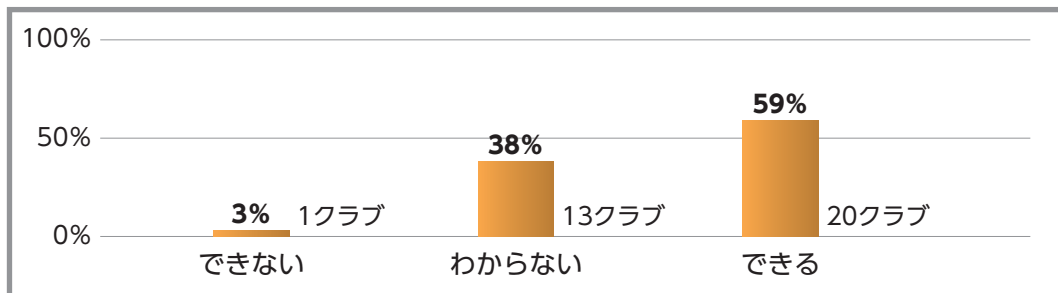
- ・あなたのクラブの会員数を、年間純増2名を達成するように努めます。



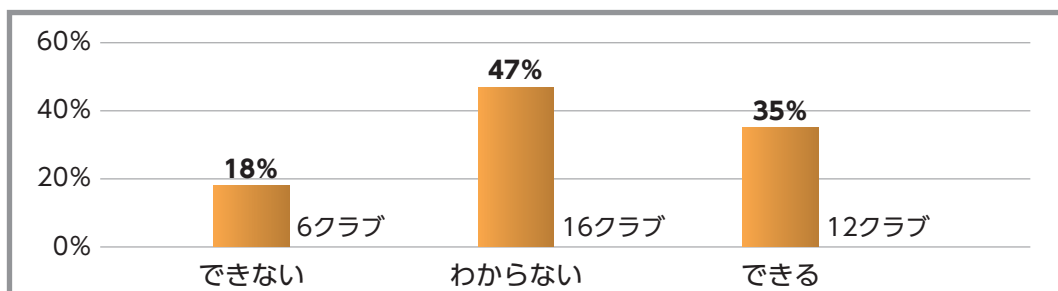
- ・地域社会の実像に沿った会員基盤を築くため、会員の職業分類を調査し、候補者の選定をより具体的に設定しやすくします。



- ・諸団体との話し合いをもち、未来の会員候補者への働きかけを行います。



- ・多様性を持ち、新たなタイプの人たち（退職者、市民等）と連携して仲間を増やし、場合によってはその受け皿としての衛星クラブの設立を視野に検討します。



上記 4 つの項目で、できない・わからないに○を付けた方の理由は

北区	2 名増 分からないが努力する。
北区	諸団体との話し合いとは、何を指すのか分からない。多様性は賛成、多様性と退職者、市民等の結びつきが分からない。
北区	地域のイベント、会合など働きかけで誘っています、入会までは至っていません。
北区	新たなタイプの人達と連携して仲間を増やすことは可能ですが、衛星クラブの設立は無理。
北区	会員の構成人員（9 名）構成のうち事業場での立場・役割、地域業界等との繋がり、プライベートにおける役割分担等の要因を勘案すると、強力に推進できる適材がない。
北区	会員の高齢化と退会会員のため、動きが鈍い、またこの地域の会社、商店が減少しているため。
北区	本年度に入り退会者がすでに 2 名出たため、今後今年度中にプラス 4 名を達成することは現実的でない。衛星クラブは地域柄イメージすることが困難。
北区	諸団体や新たなタイプの人達との関係が希薄である。
中区	会員の総意を得るために時間を要するため。
中区	職業分類は確認しますがそこを重要視していない為、その様な取り組みは考えていない。諸団体と話し合いは現実的に厳しい。知り合って興味を示したら誘ってみたりもするが、増強目的で諸団体との話し合いはできない。衛星クラブはすでに設立済み。
中区	職業分類にとらわれていると会員の増強は難しくなる。諸団体に所属する個人と話し合いは可能だが団体との話し合いは難しい。
中区	秋田の衛星クラブの実態が明確でないのではわからない。
中区	1 名純増は達成しているがもう 1 名については苦戦している。諸団体との連携がまだ具体的になっていない。
中区	努力中です。
中区	会員増強の手法について適切な助言等有難うございます。参考にさせて頂くが、実際に実施するには、相手側の都合や当方の都合を調整しなければならず、実を結ぶには不確実な部分多く、「わからない」が素直な回答となる。

傾向と対策

北区中区とも苦戦している様子が伺えます。会員増強にこれといった特効薬はないと思います。しかし地域差や地域性、少子高齢化のせいや地域の衰退のせいにしがちですが、地域のために何かをしたい、人の役に立ちたいなどと思っている仲間を増やすことは、地域の将来に必要なではないでしょうか。クラブの 3 年後 5 年後のビジョンを描き、夢を語ることでクラブの未来、地域の将来に光が見えてくると思っています。

是非、会員同士で皆さんの将来のクラブ像を話し合ってみてください。会員増強は絶対諦めないで、常に声を掛けてゆきましょう。仲間が多いとワイワイガヤガヤ楽しいクラブになります。

(2)地区はクラブ会員増強の方策となる資料を提供します。

- ・地区は会員増強の方策に必要な資料を担当委員会よりクラブへ提供します。
そこでクラブとしてどんな資料やパンフなどが欲しいか、具体的に要望をお書き下さい。

北区 3クラブ	特に必要なし。
北区	従前に“ロータリーに入りませんか”というリーフレットがありました。最新版に類する勧誘時の説明しやすくわかりやすい資料を希望する。

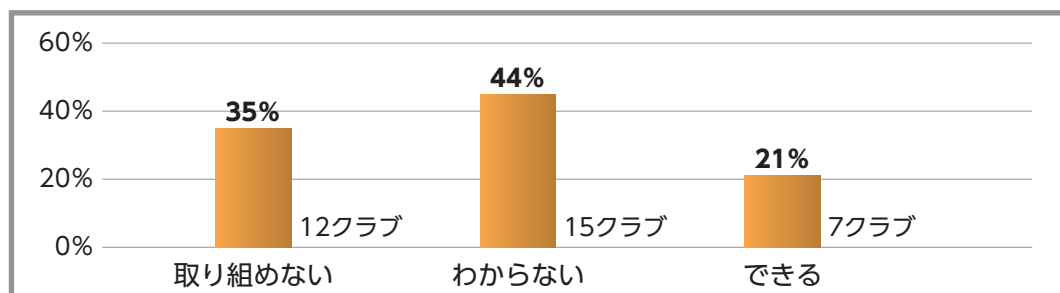
北区	人口減少高齢化が世界NO1の当地区にあって、緩やかに減少する他の地区と同じ方策で会員増強が出来るとは考えづらい。地区現状に即した方策を一緒に考える時期と思う。
北区	入会の成功事例。
中区	特になし。
中区	クラブとしての増強用リーフレットなどが多分各クラブあると思うので、地区の説明程度の物で良いかと。
中区	クラブで独自で作成しているので現在のところ特に必要なし。
中区	先にどんなパンフがあるか提示して欲しい。
中区	他のクラブの具体的な活動例や成功例。
中区	RI、RID2540地区の奉仕活動の事例紹介、会員の属性（男女、年齢、役職、職業）に関する統計情報。
中区	要望ありません。
中区	RC活動内容が多岐にわたる点は理解できるが、新たな入会者が自分にもできると意義を感じる、日常的なRCの活動例を交え、活動内容を分かりやすく示す、パンフレットが必要。
中区	ロータリー活動がどんなものか見て分かるパンフレットの作成（写真を多く使ったもの）
中区	ロータリー活動をすると、こんな良いことがあると説明できるような具体的な事例
南区	特に思いつきません。
南区	ロータリアンが実施した過去の社会奉仕活動の実績（具体例）や活動写真、現在取り組んでいる活動など、紹介者へ提示できるパンフレット。
南区	どのような資料があるか教えて下さい。
南区	特にございません。
南区	特にありません。
南区	入会しやすいし、誘いやすいと思います。
南区	大分載っています。

傾向と対策

各クラブから要望のあった資料は、クラブごとにお送りしたいと思います。他クラブの社会貢献事業や奉仕活動などの事例は、ロータリーの友にも毎号載っていますので、是非参考にして下さい。

(3)新しい形態のクラブ設立の可能性を推奨します。

- ・これまでの会員属性とは異なる会員（会社員・教員・公務員・議員等）を増やすために、衛星クラブ、分野特化型クラブ等、新しい形態のクラブ設立の可能性を検討し、設立をめざす。



・ 取り組めない・わからないと答えた方はその理由をお書き下さい。

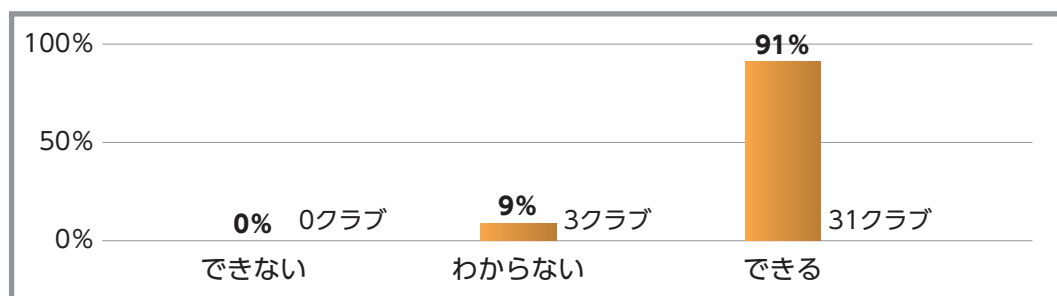
北区	会員増強手法は各クラブに任せてもらえればと思う。
北区	会員増加も見込めないので余裕ありません。
北区	常々現会員で増強について話し合い検討している。衛星クラブ、新しい形態のクラブ設立は必要か疑問。
北区	現状のクラブ運営を続けることが優先と考える為。
北区	会員の構成人員（9名）構成のうち事業場での立場・役割、地域業界等との繋がり、プライベートにおける役割分担等の要因を勘案すると、強力に推進できる適材がいない。
北区	人口減少と青年層の減少。
北区	分化特化型クラブ等の設立に向けた資料やマニュアルを頂きたい。具体的にイメージして進める必要がある。
北区	勉強不足である。
中区	会員の相違を得るために時間を要するため。
中区	現在、RC所属の秋田北ミモザロータリー衛星クラブが存在しているのでその会員を増やす努力は考えているが、また新たな衛星クラブを設立することはできないと考える。
中区	クラブ会員を増やす事を最優先としているので、属性の異なる会員増強については検討していない。
中区	努力したいと思う。
中区	現状では通常の会員数純増に注力するため。
中区	対象となる会員候補者との交流の場が作れない。
中区	新たなクラブ設立の意義は感じるが、実際にそのような新形態のクラブの実際をイメージできないので「わからない」としか回答できない。
中区	時間を拘束される勤め人の方々が、自らの意思でクラブ例会等に参加する気になるのかわかりません。
南区	検討の結果そのようなクラブ設立は目指さない。すでに会社員、議員は入会している。
南区	ロータリアンが実施した過去の社会奉仕活動の実績（具体例）や活動写真、現在取り組んでいる活動など、紹介者へ提示できるパンフレット。
南区	現クラブの運営で精いっぱいです。
南区	当クラブでは努力はしますが、難しい。
南区	衛星クラブの設立について、クラブ内で今まで話し合いをもたれた事がないため。
南区	本年7月に事務局が新しくなり、まだ軌道にのっていないため考えておりません。
南区	新しい形態のクラブ設立は、今後必要な事だと思うが、当クラブにおいては人手が不足しており、今年度取り組むのは現実的に難しい。また現メンバーのほぼ全員が会社の実務もおこなっており、長い時間の活動が難しいと考えます。

傾向と対策

新しい形態のクラブ設立はなかなか難しいようです。どんなクラブ形態があるか、皆さんの地域についてクラブ内で話し合ってみて下さい。そして若い人がどんなクラブがあれば入会してくれるのか。若い人たちが入会できる受け皿を作っていくことが、地域の将来を担う人財育成に繋がると思います。世の中の変化に対応したクラブに変える、何をどう変えるか、伝統とは改革の歴史です。クラブの繁栄はチェンジ・チャレンジ・チャンスの3つのCでやってみませんか。

(4)「ロータリーを語れる」会員を増やします。

- ・「ロータリーを語れる」会員を増やし、「ロータリーを語る行動」を通じ新会員勧誘に努めます。



- ・できない、わからないと答えた方はその理由をお書き下さい。

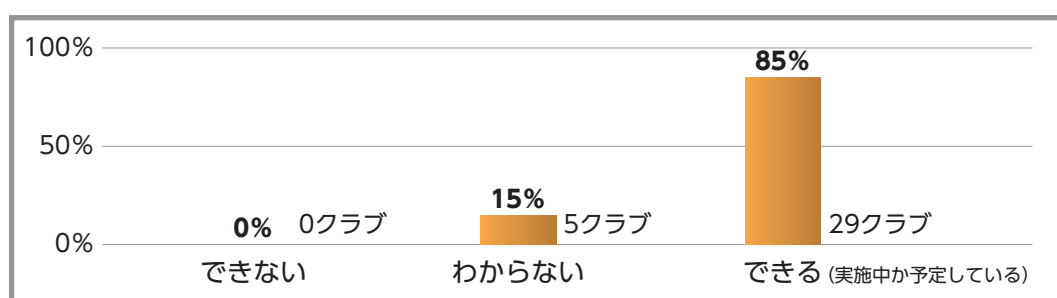
北区	会員の性格や能力にも依存するもので、ロータリーを語る行動は強制できない。
北区	入会年数に応じたロータリーへの理解度をもとに語ることはできると言えますが、入会候補者に説明するのは難しい。RLIの受講はロータリーを理解する近道の1つだと思う。
中区	少数の意識の高い会員を除き、なかなか会員に対して熱意が伝わらない。
南区	日々例会への参加を働きかけていますが、今の所参加者無し。

傾向と対策

ロータリーを語る、とは何を意味するのでしょうか。ロータリー・モメントという言葉があります。モメントとは瞬間などと訳されますが、ロータリーに入会して、またロータリアンとして心に残る経験や思い出、と解釈しますと、人と人との出会いや知り合いが増え、多くのことが思い出となります。他業種の方や地区内外の方と知り合うことでいろいろな刺激を受けます。交流は人生に彩を添えてくれます。折角の人生です。様々な人達地と出会ってみませんか。ロータリーを通じ、楽しく元気な人生を過ごしてみませんか、と語ろうではありませんか。

(5)公共イメージ向上を図ります。

- ・地区・クラブのそれぞれが公共イメージをはかり、地域全体への認知向上を高めます。
- ・地区一丸となってENDポリオ活動（ポリオデー）を開催し、地域へ活動を発信します。地区としても活動しますが、クラブとして活動できますか？



- ・できない、わからないと答えた方は、その理由をお書きください。

北区	現状の活動に加えた活動を実施する為のマンパワーがいるかどうか。
北区	10月26日のポリオデーのような地区の行事としての活動にはある程度参加できます。
中区	事業が多くまた組織改革にエネルギーをとられており、単独事業として展開できるかは、クラブのキャパシティ的に難しい。

傾向と対策

全体の85% (29クラブ) が公共イメージについて、できると答えています。しかし15% (5クラブ) がわからないと答えています。公共イメージは各クラブの活動状況を広く知らせ、地域へのアピールすることによってクラブの存在価値を高める効果があると思います。善行は共感を呼び、信頼と信用を得ることが出来ます。陰徳ではなく、良いことは遠慮せず、積極的に広報をしていきましょう。

ロータリー研究会の参加報告

ガバナーノミニー 土館 守

12月14～15日に開催されたロータリー研究会へ参加してまいりました。

1日目の第2セッションの「クラブ活性化」について当地区の会員増強拡大においてとても貴重な事例と考えましたので、以下の2点を報告いたします。

- ①ガバナーは6人未満のクラブを終結できる。とありますが、2011年11月に、第2730地区鹿児島県加世田ロータリークラブは会員数が1名にまで減少しました。その時、当時の工藤ガバナー補佐がガバナーと協議してクラブを存続させるがどうか話し合いをしました。ガバナーは、新しいクラブを作るとなると20名必要となるから、今あるクラブを再建する方がいい、と結論づけました。そこで工藤ガバナー補佐は所属していた、宮崎県都城ロータリークラブから自ら移籍をして再建に動きをしました。しかし、すんなり移籍が出来たわけではありません。都城RCからは、引き止められ、代わりに娘さんがロータリークラブに入会することで、翌年7月1日に移籍することが出来ました。クラブは2名となりましたが、工藤前ガバナー補佐には加世田地区に縁もゆかりも無い人間です。それでもめげずに、飛び込み営業をかけてロータリーを普及しようと努力しました。しかし世の中は甘くありません。1年かけても会員数は1人も増えませんでした。そんな工藤さんの姿を哀れに思い、当時の加世田商工会の会長が、商工会青年部から2名、かわいそうだからということで、義理で、加世田ロータリークラブに入会させました。2013年6月末の事です。その2人ですがロータリーに入会して職業奉仕の話を聞きこれはいいクラブではないか、役に立つクラブではないかと考えました。若い会員ですから動くのは早いです。自分たちの仲間を一人二人と集めて数年後には20人まで回復することができました。そして元気のいいクラブ作りをし、今年は25人を目指して頑張っておるとの事です。
- (キーワード:職業奉仕と若い会員の重要性)

- ②第2580地区東京都の地区拡大委員長の若林英博さんからの例です。東京麹町ロータリークラブに所属しています。大都会だと会員拡大は楽だろうと思っている方も多いでしょうが7年前から東京都でもロータリーの会員数はどんどん減っていました。そこで何とか増やそうと3年前から努力致しました。実は伝統あるクラブでは、なかなか敷居が高く、改革することは意外と困難なものであります。そして新しいことに前向きではありませんでしたそのため新会員にとっては魅力のないクラブでありました。そこで当時の地区拡大増強委員長だった若林さんはそれならば新しいクラブを作ればいいのかと考えました。ちょうど国際ロータリーでは、衛星クラブというのが承認され8人会員が集まると結成することができました。これを利用して8人の衛星クラブで、20のクラブを作りましたその結果新しいクラブで100人増えることが出来ました。これに刺激を受けて既存のロータリークラブでも改革に動き出し50人の会員増強をすることはできました。結果、当地区では3年前から比べて150名の純増を果たすことが出来ました。会員拡大は1年間やったからと言って、成果が出るものではありません。長い目で頑張らないとダメ。改革案としては、衛星クラブを作る。今年は当地区で、新たに5の衛星クラブと3つのローターアクトクラブが結成されました。夜例会、オンライン例会、土曜例会など、柔軟性のある例会づくり。また、引っ越した会員にはWeb会員になってとどまってもらう。などです。また、会員維持の点からは、ケンカはしない、悪口は言わない、うそをつかない事が重要です。そして、すべてに当てはまることですが、メンバーのやる気と協力が不可欠です。
- (キーワード:衛星クラブと会員に合わせた例会の開催)



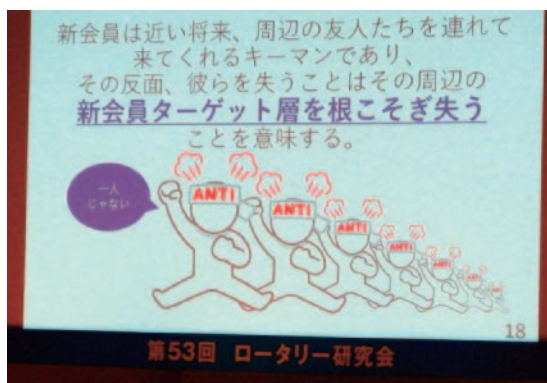
▲セッションⅡ、衝撃的な会員拡大事例

人口1万人あたりのRC会員数（第1地域）

地区	地区別数	会員数	人口（万人）	1万人あたりの会員数
2500	64	2,335	505.4	9.0
2519	68	2,385		
2520	76	2,934	114.4	5.9
2530	86	2,178	224.7	12.4
2540	40	1,147	59.8	12.3
2550	47	1,558	198.2	8.2
2560	54	2,933	299.8	9.8
2570	47	1,368	732.9	6.2
2575	68	2,246		
2580	83	2,688	627.5	4.2
2600	49	1,511	191.0	14.9
2610	7	411	23.9	13.1
2620	88	1,963	281.0	6.6
2630	49	1,119	116.4	9.6
2640	45	2,656	108.9	10.8
34地区合計	2,254	83,615	12,413.6	6.7

※34地区合計人口は日本の総人口を北緯35度緯線・ブエノスアイレス緯線・ブエノスアイレス緯線・パラマ
タラカス緯線及び緯線数2024年8月現在、人口は2024年10月現在

▲山形の事例発表、人口当たりあと秋田はいい勝負



▲東京地区の都会ならではの拡大の苦労話



▲水野RI理事挨拶開会です

新会員紹介



入会クラブ 稲川ロータリークラブ
氏名 阿部 司（あべ つと）
職業分類 旅館業
勤務先 阿部旅館
役職 代表取締役社長
入会年月日 2024年11月12日
紹介者 佐藤 繁夫

会員数の増減及び出席率

区分		クラブ名	会 員 数					会員数の増減		年度平均 出席率
			2024年 6月末	2024年 7月末 (A)	2024年 11月末 (B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B) - (A)	純増割合	
北 区	大館・鹿角分区	大 館	37	36	37	4		1		
		花 輪	20	20	20			0		
		鷹 巣	7	7	7	1		0		
		大 館 北	21	17	19	3	1	2		
		十和田秋田	25	26	26	1		0		
		大 館 南	31	31	31		1	0		
		大 館 中央	14	15	15	1		0		
	能代・男鹿分区	能 代	51	51	53	9	2	2		
		男 鹿	10	9	9	3		0		
		二 ツ 井	5	5	5			0		
		五 城 目	12	12	12			0		
		潟 上	30	33	31		1	-2		
		男 鹿 北	11	11	11			0		
		山 本	12	12	12		1	0		
	能代白神	13	14	14	6		0			
中 区	秋田分区	秋 田	106	105	108	5	2	3		
		秋 田 東	83	83	78	4	1	-5		
		秋 田 港	47	46	44	8		-2		
		秋 田 北	57	58	57	5	1	-1		
		秋 田 南	35	38	40	3	1	2		
		秋 田 中央	40	40	41	5		1		
		秋 田 西	17	20	19	2	2	-1		
	本荘・由利分区	本 荘	33	33	33	1		0		
		矢 島	7	7	7			0		
		象 潟	8	8	8	1	0	0		
		本 荘 東	19	17	17	2		0		
	本 荘 南	5	5	6	2		1			
南 区	大曲・仙北分区	大 曲	42	43	44	3	1	1		
		角 館	13	14	14	3	1	0		
		大 曲 南	14	14	14	2		0		
		大 曲 中央	8	8	11	6		3		
		田 沢 湖	17	17	17	1	1	0		
		大 曲 仙 北	11	11	11	5	1	0		
	横手・湯沢分区	湯 沢	65	66	69	1	3	3		
		横 手	53	53	52	2		-1		
		横 手 南	67	67	66	0		-1		
		西馬音内	15	14	13		1	-1		
		湯 沢 南	22	22	22	1	2	0		
		稲 川	13	13	14	3	1	1		
		横 手 東	11	11	11			0		
合 計			1,107	1,112	1,118	93	24	6		

①※印のクラブは未提出のクラブでマイロータリー参照

②40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計

国際ロータリー第2540地区 2024-2025年度 地区大会



16日リーダー研修
佐藤和志ガバナー挨拶



リーダー研修講師
RID2690松本祐二PG



RI会長晩餐会
大曲高校書道部パフォーマンス



17日本大会
西村地区大会委員長 歓迎の挨拶



基調講演講師
ヤマザキマリ様



RI会長代理 橋岡久太郎様
RIの現況



RI会長賞
湯沢RC松田会長



委員会現況報告
富樫成長戦略委員長



米山記念奨学委員会、奨学生の発表



青少年交換学生の発表



次年度地区大会開催地区(本荘RC)挨拶



大懇親会
ホストクラブ熊沢会長挨拶